

廃止発電所写真集

廃止発電所シリーズ 10

奈良県奈良市「白砂（白砂川）発電所」編

諸元一覧表

発電所所在地	奈良県奈良市下狹川町	備考
発電所名	白砂（白砂川）	
水系河川名	淀川水系木津川白砂川 （1級指定区間）	
事業者	明治40年9月 関西水電	
事業者変遷	不明 合同電気 昭和12年3月 東邦電力 昭和17年4月 関西配電	
廃止年	昭和42年	
廃止理由	不明（奈良市上水道？）	
最大出力（kW）	200→470→600	
最大使用水量（m ³ /s）	0.64	
落差（m）	127.3	
位置情報	安郷川合流点下流	

「関西地方電気事業100年史」：S62.10 より抜粋

以下、ブログより

2016 年になりましたね。

今回は超蔵出し写真を含めてのご紹介ですよ～

3 年ほど前に趣味の旧発電所探索に出かけました。

大分前ですのでとても懐かしいですわ。

それは奈良県木津川水系の白砂川にかけてあった「白砂発電所」です！

関西地方電気事業百年史などから、白砂川に最大出力 600kW の小水力があったことが分っていました。最大使用水量は、0.64m³/s、有効落差約 127m です。

木津川右岸を上がってゆくと笠置町で奈良方面に分かれる橋が見え、それを上がり右側に行くと白砂川が見えてきます。

ちょいと上流行くと見つけ難いのですが、白砂川本流へゆく橋がありました。

その狭い道路を当時乗っていた車高の低い車で上がってゆくと、奈良県の水道施設があり、水利使用の看板も確認出来ました。

ここが旧発の取水口かなー と思いつつ少し上がるといかにも怪しい取水えん堤が現れましたよ！！

やな場の様なものが設置されている以外は農業用水のものもないし、これが多分旧発の取水えん堤だと確信しました。

水路は下流の斜面沿いに延々と設置されているようですが、私の脚では無理と判断し、怪しく思っていた発電所地点へ移動しました。

怪しい地点に到着しましたが、そこは左岸です。取水口は右岸だなー。。。

となると、河を渡る高度な技術が必要だなー と思いつつ周囲を観察。。

左岸にある何かの工場でしたが、思い切り声を掛けてみると「知ってるで！ここの地下に発電所があったんや！出口は見えるで。」とのことで、即座に見せてください！ とお願いし放水路トンネルに潜入しました！

それが下の写真です。

確かに放水路ですよ！！ その後対岸にも水圧管路を発見！

間違いなく、ここが旧「白砂発電所」だと確信しました。

ここが廃止されたのは、昭和 42 年です。

現在は奈良県水道局が 0.64m³/s の水利権を取り使用しており、ここの流域面積だととてもじゃないけど新規の発電計画は成り立ちません。

仕方ないですがねえ。昔のええ思いででしょうか。

今回の写真集編集にあたり取水位置を見直しました。

やな場と思われた堰堤はやはり、単なるやな場ではないか。

木津川漁協のホームページには載っていませんが。。

地域の方達が運営しているのかも　と。

それと、発電所廃止時期と奈良市水道局の須川ダム引水事業時期が一致していて、さらに引水量は旧発電所の 0.64m³/s　と一致している。。。

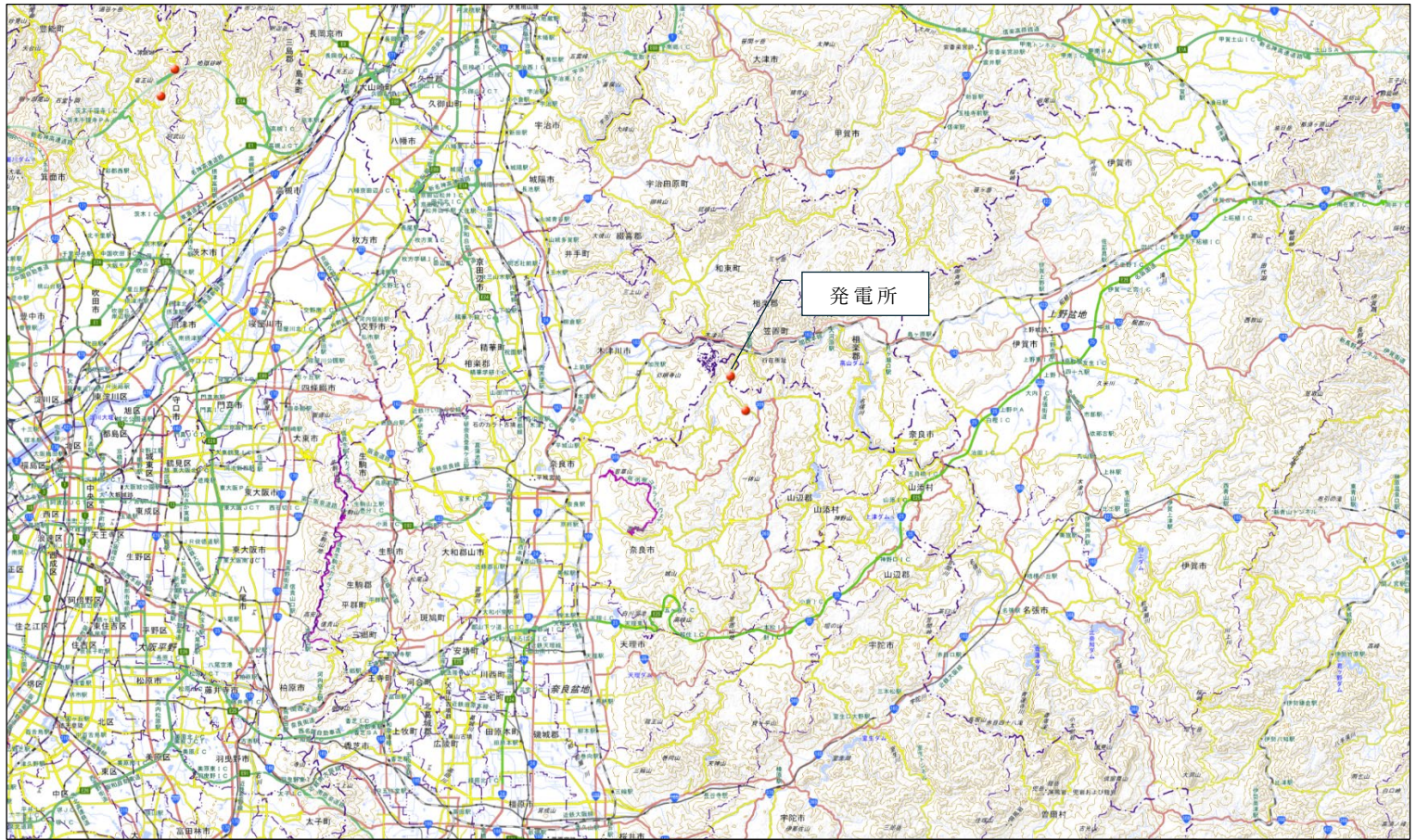
また、取水地点の標高は約 200m であり、有効落差も一致している。。。

このような事から、当写真集での取水地点は奈良市水道局の取水地点に修正しました。

奈良市の沈砂池は水道用に拡張したと思います。

そくて、須川ダム向けに立派な逆サイフォンを建設したと。

推定位置図



推定ルート図





水 利 使 用 標 識	
河 川 名	一 級 河 川 白 砂 川
許可年月日・許可番号	平成22年4月16日 21国近整水第333号
許 可 期 限	平成31年3月31日
許 可 権 者 名	国 土 交 通 大 臣
水利使用者名	奈 良 市
水利使用の目的	上 水 道
取 水 量	0.640m ³ /s
取水施設管理者名	奈良市水道局 技術部 浄水課
所 轄 事 務 所 名	淀川河川事務所 電話 072-843-2861





以下 発電所跡

左の工場地下が発電所跡





工場の側面に水圧管跡（対岸から水管橋で導水）



対岸の状況 よく見えません



放水路内部



放水口跡

